

# SNSでの発言、気をつけてる？

8月に開催されたパリオリンピック。日本人選手の活躍に日本中が湧きました。

一方で、SNS上で選手個人に対して攻撃的な言葉で誹謗中傷をする投稿が多く見られました。

投稿者たちは誹謗中傷をするつもりはなく、SNSに自分の意見を書いていたつもりだったかもしれませんが…みなさんは、自分でも気づかぬうちに誹謗中傷してしまっていないか？

## 実際にあった誹謗中傷に関する事件

### 事例①

お笑い芸人のAさんは、インターネット上の無責任な書き込みで、殺人事件の犯人に仕立て上げられました。

Aさんは、その根も葉もないわさにより、連日、誹謗中傷を受ける生活に…。

Aさんは警察と協力し、特にひどい誹謗中傷をしていた19人を一斉に検挙(※)しました。



(※) 検挙とは、容疑者をつかまえて警察に連れて行くこと。

### 事例②

女優のBさんは、SNS上で自分や家族に対する誹謗中傷を受けるようになりました。

Bさんは裁判を行い、誹謗中傷をしていた男性を訴えました。訴えられた男性は、約300万円を支払うことになりました。



## 誹謗中傷をするとどうなる？

誹謗中傷すると、以下のような罪に問われることがあります。

### 脅迫罪

本人または親族の生命や自由・名誉などに対して害を加えることを伝えた場合に成立する罪。

- 例 -

「家を特定して殺してやる」

「お前の住所と顔さらしてやる」など

### 侮辱罪

公の場で人をバカにしたり、はずかしめたりした場合に成立する罪。

- 例 -

「〇〇ってほんとにブサイクすぎ」

「〇〇頭わるすぎ、きもいし」など

### 名誉毀損罪

多数の人が知ることのできる場所等で人の名誉を傷つける行為をした場合に成立する罪。

- 例 -

「〇〇は犯罪者だぞ、気をつけろ」

「〇〇は受験の時カンニングしてた」など

## SNS上に投稿する時に気を付けてほしいこと

SNS上に投稿する際、上記のように、投稿内容によっては罪に問われることがあります。

投稿する前に自分の書いた内容に問題がないか、以下3つをきちんと確認したうえで、SNSで発信するようにしましょう。

- ☒ 誰が読んでも誤解されない、同じ解釈ができる文章になっているか
- ☒ 人をおとしめたり傷つけたりするような攻撃的な言葉を使っていないか
- ☒ 投稿する内容は、ウソ（デマ）情報ではないか

## SNS上に投稿する言葉には、十分に気をつけましょう